

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
29年 6月 20 日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県名古屋市中区新栄町1-5 栄中央ビル 3階 氏 名 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建第六事業所 東海エリア エリア統括 後藤 孝司 電話番号 052-957-3550	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建第六事業所 東海エリア
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区新栄町1-5 栄中央ビル3階
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 1,882,328,000 円
③ 従業員数	83名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) 各現場(各排出事業所)で発生した廃材はすべて中間処理業者に委託。その後、中間処理業者で再資源化、再生業者に委託又は、埋立処分とする。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部

↓

東海エリア統括（処理管理統括責任者）

↓

工事部（処理計画作成担当・廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	排 出 量	127.995 t	11.790 t
	(これまでに実施した取組)		
	1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底 2 解体工程もそれに応じて検討した。 3 27年度比で1割減できた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	排 出 量	115 t	11 t
	(今後実施する予定の取組)		
	1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の敷地状況によって最大限分別に努める。 木くず、ボード類 等を優先的に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事紙くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事紙くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	全 処 理 委 託 量	127.995 t	11.790 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	26.810 t	11.190 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	94.716 t	8.253 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック	2 建設工事の紙くず
	全処理委託量	115 t	11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	24 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	85 t	7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括（処理管理統括責任者）



工事部（処理計画作成担当・廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	排 出 量	448.415 t	6.858 t
	(これまでに実施した取組)		
	1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底 2 解体工程もそれに応じて検討した。 3 27年度比で1割減できた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	排 出 量	404 t	6 t
	(今後実施する予定の取組)		
	1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の敷地状況によって最大限分別に努める。 木くず、ボード類 等を優先的に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	全 処 理 委 託 量	448.415 t	6.858 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	324.940 t	4.602 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	439.447 t	4.321 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	3 建設工事の木くず	4 建設工事の繊維くず
	全処理委託量	115 t	11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	24 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	85 t	7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括（処理管理統括責任者）



工事部（処理計画作成担当・廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	排 出 量	98.988 t	150.300 t
	（これまでに実施した取組） 1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底 2 解体工程もそれに応じて検討した。 3 27年度比で1割減できた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	排 出 量	89 t	135 t
	（今後実施する予定の取組） 1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場の敷地状況によって最大限分別に努める。 木くず、ボード類 等を優先的に分別する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	全処理委託量	98.988 t	150.300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	25.990 t	114.400 t
	再生利用業者への処理委託量	97.998 t	39.078 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)
解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。
解体の工程もそれに応じて検討した。

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	5 金属くず	6 ガラスくず、コンクリートくず等
	全処理委託量	89 t	135 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	23 t	103 t
	再生利用業者への 処理委託量	88 t	35 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括 (処理管理統括責任者)



工事部 (処理計画作成担当・廃棄物担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 (平成28年度) 実績】

産業廃棄物の種類

7 石膏ボード

8 がれき類

排 出 量

32.250 t

992.488 t

(これまでに実施した取組)

- 1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底
- 2 解体工程もそれに応じて検討した。
- 3 27年度比で1割減できた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

7 石膏ボード

8 がれき類

排 出 量

29 t

893 t

(今後実施する予定の取組)

- 1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現場の敷地状況によって最大限分別に努める。
木くず、ボード類 等を優先的に分別する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	全 処 理 委 託 量	32.250 t	992.488 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	25.560 t	848.484 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	26.768 t	476.394 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 石膏ボード	8 がれき類
	全処理委託量	29 t	893 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	23 t	764 t
	再生利用業者への 処理委託量	24 t	429 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括 (処理管理統括責任者)



工事部 (処理計画作成担当・廃棄物担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 (平成28年度) 実績】

産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
排 出 量	127.428 t	2.652 t

(これまでに実施した取組)

- 1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底
- 2 解体工程もそれに応じて検討した。
- 3 27年度比で1割減できた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
排 出 量	115 t	2 t

(今後実施する予定の取組)

- 1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現場の敷地状況によって最大限分別に努める。
木くず、ボード類 等を優先的に分別する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	全処理委託量	127.428 t	2.652 t
	優良認定処理業者への処理委託量	81.400 t	2.340 t
	再生利用業者への処理委託量	85.377 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	9 コンクリート破片	10 安定型建設混合廃棄物
	全処理委託量	115 t	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	73 t	2 t
	再生利用業者への 処理委託量	77 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括 (処理管理統括責任者)



工事部 (処理計画作成担当・廃棄物担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度 (平成28年度) 実績】

産業廃棄物の種類

11 管理型建設混合廃棄物

12 新築系混合廃棄物

排 出 量

18.876 t

529.334 t

(これまでに実施した取組)

- 1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底
- 2 解体工程もそれに応じて検討した。
- 3 27年度比で1割減できた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

11 管理型建設混合廃棄物

12 新築系混合廃棄物

排 出 量

17 t

476 t

(今後実施する予定の取組)

- 1 委託している産業廃棄物業者との連携を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現場の敷地状況によって最大限分別に努める。
木くず、ボード類 等を優先的に分別する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	18.876 t	529.334 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	18.668 t	174.746 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8.872 t	317.600 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	11 管理型建設混合廃棄物	12 新築系混合廃棄物
	全処理委託量	17 t	476 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	17 t	157 t
	再生利用業者への 処理委託量	8 t	286 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

新築そっくりさん事業本部



東海エリア統括（処理管理統括責任者）



工事部（処理計画作成担当・廃棄物担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（平成28年度）実績】

産業廃棄物の種類 13 石綿含有建材

排 出 量 51.580 t t

(これまでに実施した取組)

- 1 既存建物解体時に付随物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底
- 2 解体工程もそれに応じて検討した。
- 3 27年度比で1割減できた。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類 13 石綿含有建材

排 出 量 46 t 476 t

(今後実施する予定の取組)

- 1 委託している産業廃棄物業者との連帯を図り、分別することによる資源の再資源化、再生化の効率化を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
現場の敷地状況によって最大限分別に努める。
木くず、ボード類 等を優先的に分別する。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
大きな収集コンテナを設置するのではなく、複数のコンテナ、フレコンバックを設置し分別資源の品目を増やす。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	全 処 理 委 託 量	51.580 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 解体時に付属物の撤去を行い、産業廃棄物の分別を徹底。 解体の工程もそれに応じて検討した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	13 石綿含有建材	
	全処理委託量	46 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物処理業者との連携をとり、分別することによる資源の再資源化、効率化を図る。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。